

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：社会科学】

大 学 名	神戸大学	整理番号	I - 1
拠点のプログラム名称	「市場化社会の法動態学」研究教育拠点		
中核となる専攻等名	法学研究科経済関係法専攻		
事業推進担当者	(リ-ダ-)根岸 哲 外17名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本拠点形成計画は、世界的規模で進展する社会の市場化に伴い、大きく変容する市場の法秩序に対応する動的な法学の構築を世界水準で行うものである。そこでは、法秩序の変容について、法学が中心となり、社会学、社会心理学、経営情報科学などの行動科学と、領域横断的な連携をはかり、その実相とあり方を明らかにし、それを「市場化社会の法動態学」として、世界に先駆けて提示する。本計画は、次世代研究者の育成を最重要視する。そのために、国内外の優秀な若手研究者を、公募により、2年ないし3年程度の任期で採用し、それらの者が、本拠点の研究資源を自由に活用し、創造的な研究を行うための環境を提供する。さらに、大学院博士課程において、領域横断的な専門性をもった世界をリードする次世代研究者の養成を行う。あわせて、本拠点を、国際的な研究ネットワークの拠点とする。そのために、海外の大学とのこれまでの交流経験を基礎として、研究ネットワークの一層の展開と強化を図る。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>社会の市場化に対し、法をこれまでの国家法・判例法とは異なる視覚からとらえることによって新しい法学（「法動態学」）を構築しようとする意欲的な研究拠点形成計画である。本拠点は、私法、競争法、法社会学等の分野においてこの研究を遂行するための研究を蓄積しており、世界水準の研究教育拠点として確実な成果が期待される。大学の将来構想の中での十分な戦略的位置づけもなされている。</p>			